

講演会 動画（録画）配信のご案内

カテゴリー： **市場と経済の分析**

日米金融政策と 歴史的円安の行方

講師

木内 登英（きうち たかひで）氏

株式会社野村総合研究所
エグゼクティブ・エコノミスト

配信開始日時＜予定＞

2022年12月22日（木）16:00

講演内容

物価高騰が続く中、各国は為替の安定を重視し、利上げ競争、通貨高競争の様相を強めている。これが2023年の世界経済を悪化させるだろう。他方、大幅利上げによるドル高を容認し続ける米国への批判が高まっており、国際協調は揺らいでいる。日銀が政策姿勢を変えない中、日本の円安は、為替介入などの政策対応では止められず、米国の利上げペースが明確に鈍化するまで続くだろう。

講師略歴

1987年野村総合研究所入社後、経済研究部・日本経済調査室に配属後、エコノミストとして職歴を重ねる。90年野村総合研究所ドイツ(フランクフルト)、96年野村総合研究所アメリカ(ニューヨーク)で欧米の経済分析を担当。2004年野村証券転籍、2007年経済調査部長兼チーフエコノミストとして、グローバルリサーチ体制下で日本経済予測を担当。12年内閣の任命により、日本銀行の最高意思決定機関である政策委員会審議委員に就任。17年7月より現職。近著に、『決定版 銀行デジタル革命』（東洋経済新報社、2018年8月）、『トランプ貿易戦争』（日本経済新聞出版社、2018年10月）、『世界経済、最後の審判 破綻にどう備えるか』（毎日新聞出版、2019年3月）『プラットフォーム経済圏 GAFA vs. 世界』（日経BP、2019年5月）、『決定版 リブラ』（東洋経済新報社、2019年12月）、『決定版 デジタル人民元』（東洋経済新報社、2021年8月）など。

◆質疑応答

本講演内容に関するご質問は、当協会講演会・セミナー担当宛てに事前メールでお送りください。講師からのご回答を動画に収録し、配信いたします。

質問受付期限： 12月7日（水）23:59まで

なお、ご質問は本講演に関するものに限り、当協会が相応しくない内容と判断した場合は採用いたしかねます。また、ご質問が多数になった場合は、当協会の判断で採否を決めさせていただきますので、ご了承ください。

- ◆この動画配信は12月12日に収録を予定しています。
- ◆配信期間：1年間（2023年12月までを予定）
- ◆講演内容等は予告なしに変更されることもございます。予めご了承ください。

CMA 



視聴方法

▶当協会の会員の方：

マイページから動画検索・視聴画面にお進み下さい。

▶非会員の方：

1）動画検索・視聴画面から該当の動画を選択し、視聴料お支払いの画面にお進みください。

2）お支払い後、メールアドレスに視聴URLが送信されます。

**非会員の方
視聴申込はこちらからどうぞ**

視聴料（消費税込み）

①無料

CMA、CIIA、一般会員、個人賛助会員、法人会員・法人賛助会員の役職員、検定会員補、CMA受講生、PB資格保有者

②2,100円

PB 受験者、上記①以外の方

ウェブサイトからお申込みの際、e-con（コンビニエンスストア、e-バンキング等）でお支払い下さい。

問合せ先

公益社団法人日本証券アナリスト協会
講演会・セミナー担当

メール seminar@saa.or.jp

◆会員のマイページ登録、ID・パスワード取得に関する問合せ：[こちら](#)



公益社団法人
日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan